

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月7日

文部科学大臣殿

慶應義塾大学長
清家 篤 印



下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	慶應義塾大学	②所在地:	東京都港区三田二丁目15番45号		
③課程名:	慶應義塾大学 大学院文学研究科 図書館・情報学専攻 情報資源管理分野	④正規課程/履修 証明プログラム:	正規課程	⑤開設年月日:	平成16年 4月1日
⑥責任者:	糸賀 雅児 (慶應義塾大学 文学部 教授)	⑦定員:	文学研究科図書館・情報学専攻 20 人(平成26年度情報資源管理分野 修了者数 7人)	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	図書館員をはじめとする情報資源管理に携わる現職の専門家に対する再教育を目的とし、平日夜間および土曜日に授業を開講している修士課程である。業務に関わる最新の知識・技術を学ぶとともに、受講生のプロフェッショナルとしての実践力が向上するよう、数多くの双方向的な授業を行っている。				
⑩4テーマへの 該当の有無	非正規労働者の キャリアアップ	⑪履修資格:	大学卒業後3年以上であり、なおかつ、図書館等における実務経験あるいは司書資格を有すること		
⑫対象とする職 業の種類:	国立国会図書館、公共図書館、大学図書館、学校図書館などの図書館員、および、企業等の情報サービス部門や出版流通関連業務で働く専門家(正規・非正規雇用を問わない)				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 経営、業務、サービスに必要とされる知識・技術・技能、 およびICTスキル		(得られる能力) マネジメント能力、論理的思考力、問題解決 能力、企画力、表現力		
⑭教育課程:	本課程では、「情報資源管理特殊講義」の名称に番号を付与することにより、22の科目を設定している。このうち1~4で図書館の経営や政策、5~8および16で図書館業務やサービス、9~15で情報検索や情報メディアに関する知識や技術、技能を身に付ける。さらに、17~22で研究調査法やICTスキルを学ぶとともに、表現力や企画力を養う。また「同特殊講義演習」の1と2は、主として、修士論文の準備および指導に当て、論理的思考能力や問題解決能力の向上を図り、「同特殊講義演習」の3と4では、論文の輪読を通じて、最新の知識が身に付くようにしている。これらの「特殊講義演習」は必修としている。				
⑮修了要件(修 了授業時数等):	2年以上在籍し、32単位以上の授業科目を修得し、かつ研究上必要な指導を受けた上で、修士論文の審査および最終試験に合格すること				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	修士(図書館・情報学)				
⑰総授業時数:	52単位	⑱要件該当授 業時数:	42単位	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	81%
⑳成績評価の方法:	「授業への積極的参加」「授業内発表」「グループワーク」「授業内レポート」「期末レポート」の中から、各科目の内容に合わせて、評価方法を選んでいる。特に問題解決能力や企画力を養うため、授業内での発表やそれについての討論への積極的参加を求める授業が多い。また、論理的思考能力の向上に重要な修士論文については専任教員全員が参加する中間発表会を3回実施し、プレゼンテーション能力などの表現力を確認するとともに、最終的には論文を主査1名・副査2名での厳正な審査を通じて評価している。				
㉑自己点検・評 価の方法:	文学研究科全体として、自己点検・評価のためのワークグループが組織されており、それには、本課程(情報資源管理分野)が当然含まれている。この評価結果は、ウェブを通じて、一般公開されている。それとともに、外部の有識者等からなるアドバイザリコミッティによる評価を実施し、この結果もまた、公開する。				
㉒修了者の状況に 係る効果検証の方 法:	修了直後に、課程の全体的な評価についてのアンケートを実施し、課程における教育の満足度や効果を測るデータとして活用している。また、修了生が任意に登録するメーリングリストがあり、それを通じて修了生の状況把握に努めている。今後、さらに、修了後一定の年数を経た修了生に、体系的なアンケート調査を実施し、その後のキャリアを追跡調査することで、教育の効果を検証することを予定している。				

<p>②③企業等の意見を取り入れる仕組み:</p>	<p>(教育課程の編成) 図書館や情報資源管理組織の管理職および有識者数名から構成されるアドバイザリコミッティを設置し、カリキュラムの構成や科目の内容についての意見を伺う。 (自己点検・評価) 上記のアドバイザリコミッティに対して、毎年教育実績を報告し、評価を受ける。この結果は、ウェブを通じて、一般公開する。</p>
<p>②④社会人の受講しやすい工夫:</p>	<p>平日の夜間18:10以降および土曜日の午後にはほぼ全ての科目を開講しており、夜間と土曜日の科目の履修で修士号を取得可能である。また、52単位のうち46単位を「隔週開講・2コマ連続」の科目の履修で可能とし、普段の通学日数が減るように工夫するとともに、夏季集中科目を1科目(2単位)設置している。</p>
<p>②⑤ホームページ:</p>	<p>(URL) http://www.flet.keio.ac.jp/slis/graduate2/index.html</p>

<p>事務担当者名:</p>	<p>三保谷明子</p>	<p>所属部署:</p>	<p>学生部 学事グループ 文学研究科担当</p>
<p>連絡先:</p>	<p>(電話番号) 03-5427-1555 (E-mail) mita-bun@adst.keio.ac.jp</p>		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。